08

# 東京湾再生官民連携フォーラム
# 多摩川河口干潟ワイズユースPT
# 活動の紹介

## 【はじめに】

2022年3月に羽田空港（羽田グローバルウィングズ）と川崎市殿町（キングスカイフロント）をつなぐ「多摩川スカイブリッジ」が開通しました。それに伴い、東京の玄関口羽田空港と川崎側に広がる多摩川河口干潟のアクセスが容易となりました。

多摩川河口干潟は、大都市近郊に位置しながら、ヨシ原と泥干潟からなる**江戸前干潟の原風景が残る貴重な環境が形成**されており、アサクサノリやアユ仔稚魚等の注目種の他にも、泥質干潟に出現する**多様な生物の生息場として機能**しています。しかしながら、多くの人がこの貴重な干潟や底で生息する生き物たちの存在を知らず、有効活用に関する提案がなされていないままとなっています。

そこで、東京湾再生官民連携フォーラムに新たに「多摩川河口干潟ワイズユースPT」を立上げました。

## 【活動目的】

### ①多摩川河口干潟の生物多様性の継続的な調査、保全活動の実施

「多摩川河口生物多様性研究会」が主体となり、多摩川河口域の鳥類、魚類、ベントスなどを中心とした学術的な調査を実施する。

### ②地域住民、キングスカイフロント周辺企業、国内外の観光客を対象とした多摩川河口干潟ＥＳＤや企業ＣＳＲ活動の実施

- 研究者の調査活動と観察会を一緒に実施し、大人も子供も研究者と一緒に干潟のナゼ？ナニ？を学ぶことができるような取り組みを実施する。
- 企業CSRとしての清掃活動を通じた、干潟との触れ合いを通じた保全活動等をおこなう。

### ③大都市近傍の河口干潟における国際的視野に立ったワイズユースについて企画、提言、実施

- 大都市近傍の河口干潟における、ワイズユースに向けた意見交換をおこなう

## 【活動内容】

### ① 多摩川河口干潟ESD

- 一般市民（地域住民、周辺企業の従業員やその家族、国内外の観光客等）を対象とした観察会等を開催

多摩川スカイブリッジを渡りながら東京湾と繋がる多摩川河口干潟について生物観察会や市民調査を実施。それらの活動を通じ、参加者と協働で多摩川河口干潟の持続的利用について考える。

### ② CSR活動

- キングスカイフロント周辺の企業の従業員やその家族を対象とした清掃活動や観察会、保全活動等の実施

### ③ 有効活用に向けた行政への提言へと参加誘導

- 活動を通じて得られた多摩川河口干潟の持続的な利用・有効活用について、行政への提言および参加を誘導

まだ始まったばかりの新しいPTです。活動に興味のある方はぜひご連絡お待ちしております！

〔問い合わせ先〕
多摩川河口生物多様性研究会　会長 竹山佳奈　E-mail : kana.a.takeyama@mail.penta-ocean.co.jp
顧問 風呂田利夫(東邦大学名誉教授)　furota@env.sci.toho-u.ac.jp